

口永良部島（鹿児島県）の照葉樹林に関する研究

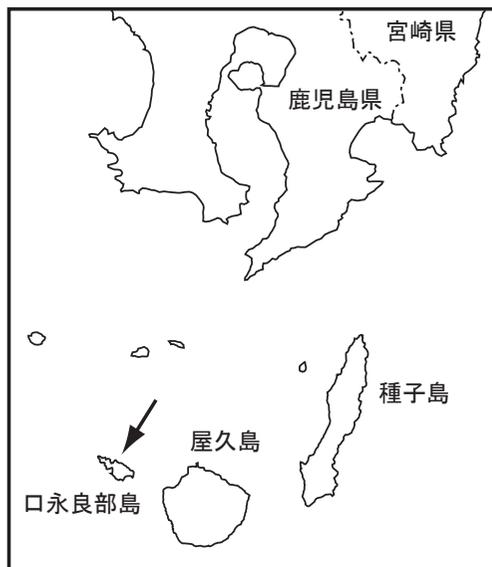


自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

石田 弘明

屋久島から 12 km 西方の海上に位置する口永良部島は屋久島国立公園とユネスコエコパークに指定されている火山島です。この島の代表的な森林である照葉樹林の林内には安山岩質の露岩が数多く分布しています。露岩のサイズは様々で、中には高さが 6 m を超えるようなものもみられます。また、露岩の表面には様々な維管束植物が付着しています。

このような植物の種組成・種多様性がどのような特徴を有しているのか、また、これらが露岩のサイズとどのような関係にあるのかを調べたところ、64 個の露岩に対して 54 種の植物を確認することができました。また、植物の種数と露岩の面積との間には強い正の相関関係が認められました（右下の図）。



口永良部島の照葉樹林



調査対象とした露岩

